

事例39 「学水館あぶくま」で河川学習

DATA
 場 所：宮城県岩沼市押分
 実 施 者：仙台工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (022) 248-4131]
 参 加 者：仙台市立上愛子小学校40名、巨理町立荒浜小学校41名、巨理町立逢隈小学校教職員20名
 岩沼市立岩沼南小学校110名、岩沼市立岩沼西小学校23名、柴田町立槻木小学校113名
 巨理町立逢隈中学校4名、岩沼市立岩沼小学校125名
 実 施 日：平成12年7月18日、9月8日、9月28日、9月29日、10月10日、11月7日、11月4日、11月10日
 平成13年1月26日：3時間

関係する分野
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景
 平成12年4月、岩沼市押分地内に開館した「学水館あぶくま」は、「川のことを楽しく学べる場」「阿武隈川探索の基地」「地域住民とのコミュニケーションの場として活用していくこと」を目的に設置されました。近隣の小中学校からの依頼により河川学習の場として「学水館あぶくま」で、川の働きや阿武隈川の歴史について学習しました。

内容
 仙台工事事務所職員、並びに学水館あぶくま勤務の委託職員が、阿武隈川を例にした川のはたらきや環境についての話や、五間堀川を例にして内水のしくみと排水事業の話等を行いました。また、施設内に展示しているパネルや、ビデオ、パソコン等を使用し、阿武隈川をはじめとする河川について楽しく勉強しました。また、ストーンアートの工作教室なども体験しました。



学水館あぶくまの前で学習内容の説明をしました



施設の中にはいろいろなものが展示されています



子供たちから活発な質問が飛び出しました

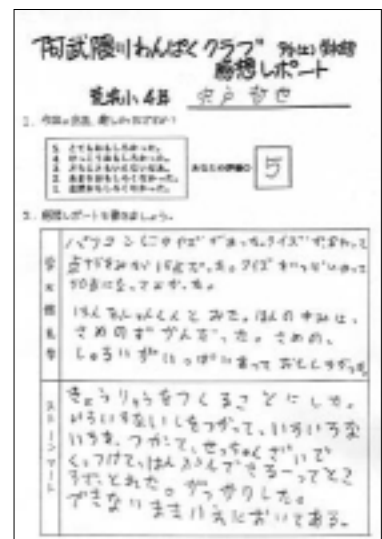


みんな熱心に耳を傾けてくれました

- ポイント**
- 阿武隈川や五間堀川など、身近な川を自分たちの川として捉え、自分たちの川への関心や興味を膨らませてもらいます。
 - 阿武隈川と周辺地域とが、昔からどのような繋がりを持って暮らしてきたかを学びます。
 - 川のはたらきや、環境や自然の大切さについても学びます。
 - 豪雨での川の氾濫による水害の話と、水害から生活を守るための取り組みについて学びます。

成果
 パソコンやゲームをまじえ子供たちに分かりやすく阿武隈川について学習していただきました。

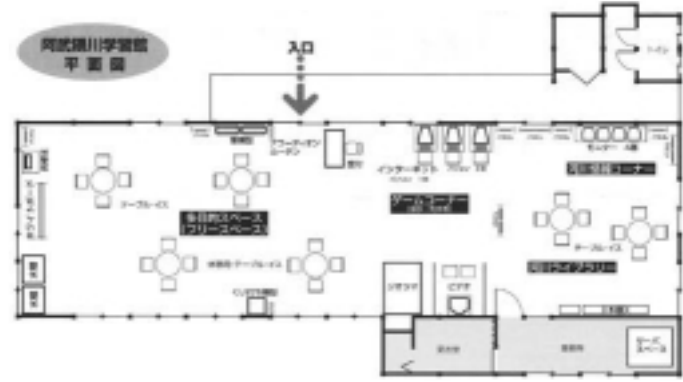
参加者の声
 「ストーンアートをするときに、石をえらぶのがたいへんでした。いろいろあってまよってしまいました。えらびおわるとじかんがありませんでした。すこしできました。」 (巨理町立荒浜小学校 4年生)
 「パソコンをしたのしかったです。それに、れきしのことが少しわかりました。」 (巨理町立荒浜小学校 4年生)



巨理町立荒浜小学校4年 尖戸哲也さんのレポート



巨理町立荒浜小学校4年 阿部明日香さんのレポート



次のステップに向けて

- 学水館あぶくまは、阿武隈川を中心とした河川関係の資料が充実しており、かつ阿武隈川探索の基地として活用できることをふまえた上で、学習エリアを限定せず、子供たちのオリジナリティを尊重したフィールドワークなどに利用することもできます。また、2001年1月31日には「学水館あぶくま角田館」が角田主張所構内にオープンしましたので、ご利用下さい。
- 阿武隈川の魅力やその働き、阿武隈川とのつきあい方などについて、地元の方や専門家に話を聞いたりしながら、子供たちが自分で理解し、学び、将来へ活かしていけるような学習が組み立てられます。